

父のめいっぱいの愛と、皆の暖かい手で、僕は大人になった—



重松清 永遠のベストセラー、親子の絆を描く感涙の名作、待望の初映画化

11月20日(日) 10:00 / 13:30開演
(両場各回30分前)
多可町文化会館 ベルディーホール

料 金 全席自由 800円(当日200円増)
チケット販売 9月10日(土)より各プレイガイドにて
詳しくは裏面をご参照ください
主催/多可町文化会館 ベルディーホール **協賛/多可町・多可町教育委員会**



不朽の名作、重松 清「とんび」待望の初映画化 阿部 寛 × 北村匠海 新たな“とんびと鷹”で贈る、 いつの世も変わることのない親子の絆を描く“家族の物語”

幾度途切れても必ず繋がってゆく親子の絆を描いた、大ベストセラー小説「とんび」。今この時代にこそ届けたいと、初の映画化が実現。主人公の、破天荒ながら愛すべき父・ヤス役には、『テルマエ・ロマエ』『下町ロケット』などの大ヒット作で、圧巻の表現力と存在感を放つ阿部 寛。ヤスの息子・アキラ役には、若手実力派の中でも突出した才能を発揮する『君の隣座をたべたい』『東京リベンジャーズ』の北村匠海。多くの深遠な物語をエンターテイメントとして昇華させてきた『64 -ロクヨン-』『糸』などの瀬々敬久監督の元に、薬師丸ひろ子、杏、安田顕、大島優子、麻生久美子、他豪華キャストが集結した。さらに、日本中に愛と勇気を与える続けるアーティストゆずにより書き下ろされた主題歌「風信子」^{ヒヤシンス}が、エンディングを彩る。これは、古き良き時代の物語にとどまらない、新たな時代への希望を予感させる《今、そして未来へ繋がる家族の絆の物語》。

STORY 日本一不器用な男・ヤスは、愛する妻・美佐子の妊娠にも上手く喜びを表せない。幼い頃に両親と離別したヤスにとって、“家族”は何よりの憧れだった。時は昭和37年、瀬戸内海に面した備後市。アキラと名付けた息子のためにも、運送業者で懸命に働くヤスだったが、ようやく手にした幸せは、妻の事故死によって脆くも打ち砕かれる。悲しみに沈むヤスだったが、人情に厚い町の人々に叱咤激励され、彼らの温かな手を借りてアキラを育ててゆく。時は流れ、高校3年生になったアキラは、東京の大学を目指し合格を勝ち取る。だが、別居の寂しさを素直に伝えられないヤスは、「一人前になるまで帰ってきてアキラを育ててゆく」とアキラを突き放す。そして昭和63年、久々に再会したヤスと大人になったアキラだったが――。

<https://movies.kadokawa.co.jp/tonbi/>  @tonbi_movie



2022.9.10(土)より下記プレイガイドにて販売
チケット料金 800円(当日 200円増) / 全席自由
多可町文化会館ベルディーホール
兵庫県多可郡多可町中区中村町135
TEL: 0795-32-1300
[販売時間] 9:00~17:00



オートロックシステム (0795-32-2978)
ブックショップM (0795-32-3604)
鶴屋書店 (0795-32-0073)
ヨシダ楽器 (0795-22-2322)
西村書店西脇店 (0795-23-3350)
おしゃれの店しんみせ (0795-28-2215)
新・文具館柏原本店 (0795-72-1223)

(新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします)

*ご来場の際は必ず不織布マスク着用をお願いします

*会場入口にて手指の消毒、検温を実施します

*37.5℃以上の発熱がある方はご入場いただけません

*発熱、倦怠感、せき、のどの痛み等、体調不良が認められる場合は会場をお控えください

*入退場時には、ソーシャルディスタンスを保つようにご配慮ください

*チケットの購入・ご来場時にお名前・ご連絡先を確認いたします

なお、必要に応じて保健所等の公共機関へ情報提供する場合がございます